

研究の動機

SDGsの8番の「働きがいも経済成長も」目標達成に貢献するために現在の各国の経済状況、それを取り巻く環境や政治について知りたいと思ったから。

先行研究

1937年日本で日中戦争による生活必需品の品不足がみられるようになる。物価統制(買い溜めの自粛や価格統制)が行われた。(山口由等)

15年戦争期中の東中経済圏と戦時体制 [158963756.pdf \(core.ac.uk\)](https://www.core.ac.uk/doi/pdf/10.11589/158963756) 7月8日

仮説

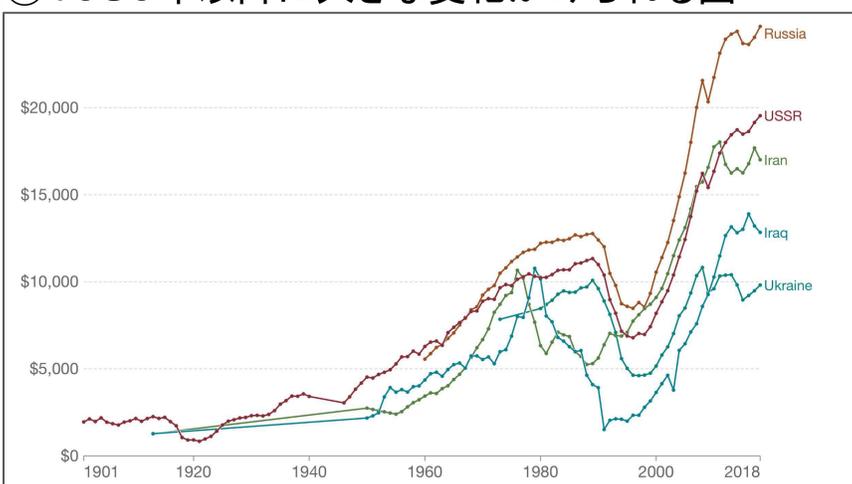
戦争と経済成長には関係があるのではないだろうか。国民に直接的な政策が国の発展に関係しているのではないか。発展の指標はGNPとする。(GNP:国民総生産)

研究方法

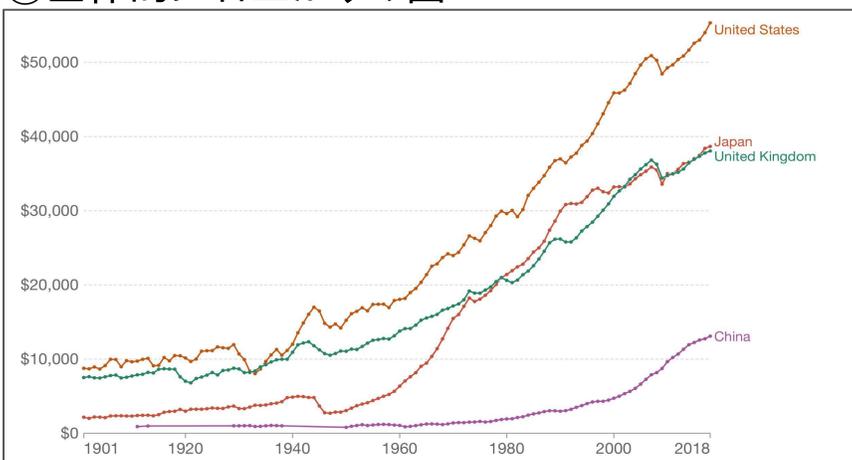
各国の戦争の歴史・戦争前後の政策・GNPの変化を調べる。調べたことの相関を見ていくことで仮説を立証する。

経過報告

①1980年以降に大きな変化がみられる国



②全体的に右上がりの国



考察

グラフ①について

ロシアは1979年のアフガニスタン侵攻と原油価格下落が影響となりソ連が崩壊し、GNPの数値が減少した。

→アフガニスタン侵攻が他国との関係を悪化させるきっかけとなり、ソ連崩壊につながった。

イランとイラクはイランイラク戦争(1980～1988)が原因でGNPの数値が減少したと考察する。

グラフ②について

日本とアメリカとイギリスはWW II (1939～1945)の影響によりGNPの数値が減少した。

アメリカはWW II (1939～1945)にGNPが増加している。

中国はWW II (1939～1945)の後のGNPも増加の幅が少ない。また中国ではデモ活動があったがGNPに変化は見られない。

まとめ

①の国は戦後にGNPが減少する。戦時中にも自分の国から遠かったりして被害がなかったらGNPも増加する。

今後の課題

日本と経済との関係をまだ調べていない。アメリカやロシアなどの発展した国はどう発展したのかを調べた後、日本の歴史と照らし合わせて考えて日本がこれからどうなるのかを考えていく。

参考文献

グラフ①、②の出典Our world in Data

https://ecodb.net/country/RU/imf_gdp.html最新世界各国要覧12訂版p240p241p244p245/
ニュースがわかる世界知図/東京書籍p78、ニュースと合わせて読みたい世界地図/昭文社p78